

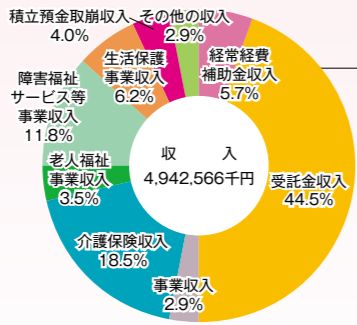
平成26年度 一般会計資金収支計算書

本会の会計は一般会計と生活福祉資金会計がありますが、平成26年度の一般会計の収支の概要は以下のとおりです。

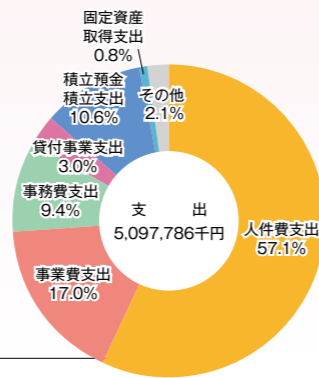
○収入の部 単位：千円

| 科目名 | 決算額 |
|---------------|-----------|
| 経常経費補助金収入 | 280,692 |
| 受託金収入 | 2,196,132 |
| 事業収入 | 142,163 |
| 介護保険収入 | 913,090 |
| 老人福祉事業収入 | 173,991 |
| 障害福祉サービス等事業収入 | 584,124 |
| 生活保護事業収入 | 308,865 |
| 積立預金取崩収入 | 198,097 |
| その他の収入 | 145,412 |
| 収入計 | 4,942,566 |

※その他の収入に数値の小さいものをまとめて表記しています。



収入



○支出の部 単位：千円

| 科目名 | 決算額 |
|----------|-----------|
| 人件費支出 | 2,905,843 |
| 事業費支出 | 871,012 |
| 事務費支出 | 481,165 |
| 貸付事業支出 | 153,220 |
| 積立預金積立支出 | 540,399 |
| 固定資産取得支出 | 40,633 |
| その他 | 105,514 |
| 支出計 | 5,097,786 |

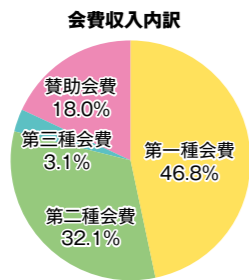
※その他の支出に数値の小さいものをまとめて表記しています。

平成26年度会費の用途について

1. 会費収入内訳

単位：円

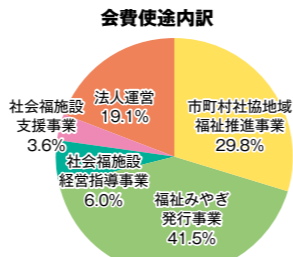
| 会費種別 | 金額 |
|---------------------------|-----------|
| 第一種会費 市町村社協 様 | 4,142,384 |
| 第二種会費 福祉施設、 保育所など 様 | 2,847,500 |
| 第三種会費 福祉関係団体 様 | 280,000 |
| 賛助会費 企業・個人 様 | 1,590,000 |
| 合計 | 8,859,884 |



2. 会費使途内訳

単位：円

| 内容 | 金額 |
|--|-----------|
| ①市町村社協地域福祉推進事業 ●県民の皆様へ地域福祉の課題を理解して頂く機会として「社協フォーラム」開催 ●地域福祉を支える民生委員児童委員の方々への支援として研修会などを実施 | 2,633,739 |
| ②福祉みやぎ発行事業 ●「福祉みやぎ」の発行…年6回 1回あたり14,500部発行 ●ホームページリニューアルなど | 3,678,021 |
| ③社会福祉施設経営指導事業 ●福祉施設、市町村社協などを対象とした事業運営や労務、会計管理などに関する相談支援及び研修など | 532,785 |
| ④社会福祉施設支援事業 ●児童福祉施設、里親会などと共に就職などで自立をする児童を対象に激励会の実施など | 316,591 |
| ⑤法人運営 ●事業・決算報告書印刷費、職員資質向上のための研修会参加費など | 1,698,748 |
| 合計 | 8,859,884 |

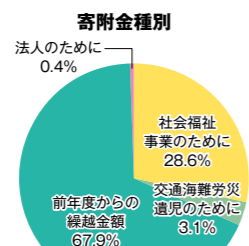


平成26年度寄附金の用途について

1. 平成26年度財源 (前年度寄附金収入など)

単位：円

| 寄附金種別 | 金額 |
|--------------|-----------|
| 法人のために | 35,200 |
| 社会福祉事業のために | 2,339,108 |
| 交通海難労働遺児のために | 251,081 |
| 前年度からの繰越金額 | 5,559,300 |
| 合計 | 8,184,689 |

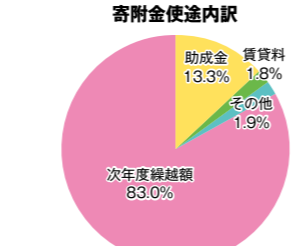


寄附金については、前年度分の収入を基に使途を検討し、翌年度に予算化し執行しています。

2. 平成26年度寄附金使途内訳

単位：円

| 内容 | 金額 |
|--|-----------|
| ①助成金 ●基幹的社協への助成 ●交通海難労働遺児はげまし事業助成金 | 1,120,000 |
| ②賃借料 ●宮城フォーラム開催会場費 | 147,100 |
| ⑤その他 ●高齢者総合相談センター事業に係る経費負担 | 163,328 |
| ⑥次年度繰越額 | 6,754,261 |
| 合計 | 8,184,689 |

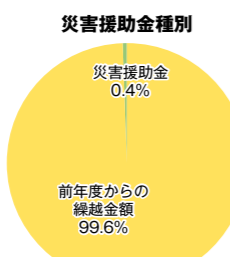


平成26年度災害援助金の用途について

1. 平成26年度財源 (前年度災害援助金収入など)

単位：円

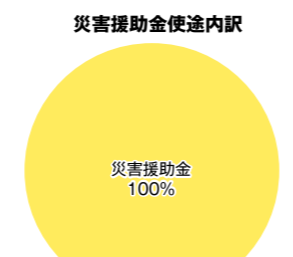
| 種別 | 金額 |
|------------|-----------|
| 災害援助金 | 34,165 |
| 前年度からの繰越金額 | 7,739,835 |
| 合計 | 7,774,000 |



2. 平成26年度災害援助金使途内訳

単位：円

| 内容 | 金額 |
|----------------------|-----------|
| ①被災地域社協へ災害援助金 (13社協) | 7,774,000 |
| ②次年度繰越額 | 0 |
| 合計 | 7,774,000 |



当会の援助金の受付については、平成27年1月をもって終了しております。今後の受入れに関しては、宮城県の入金窓口が平成28年3月31日まで延長されておりますので、必要に応じお問い合わせいただければと存じます。皆さまからのご支援誠にありがとうございました。

(2) 福祉サービス第三者評価事業の実施
県社協は、この事業の評価機関として社会的養護関係施設や保育所を対象に、提供する福祉サービスの質の向上を目指して、福祉サービスの第三者評価の受審を希望する事業所と委託契約のもと実施します。今年度は4か所の申請があり、計画的に実施しました。

(1) 日常生活自立支援の推進
認知症高齢者や障害者が安心して地域で生活できるように、権利擁護機関などと連携してニーズに即した福祉サービス利用援助を実施しました。

また地域住民に対し、地域で密着したサービス体制の充実を図るため、基幹的社協(大崎圏域・仙台圏域・仙南圏域)への事業委託を推進しました。

(3) 成年後見制度の活用
日常生活自立支援事業を認知症や知的障害などで利用されている方、又は、利用相談されている方で、成年後見制度の利用が最善と思われる方には、親族などへ制度の案内や市町村長(行政)への働きかけを行いました。

(1) 指定管理施設及び設置施設・事業所の運営
高齢者、障害児及び障害者が地域などで自立した生活が送れるように、地域福祉サービスセンター組織下の指定管理施設及び設置施設・事業所の運営にあたっては、施設入所支援をはじめ、生活介護事業、通所介護事業、各種市町村相談事業とおして生活支援や就労支援、相談支援などの福祉サービスを提供するなど適正な運営に努めました。

また、宮城県が次期指定管理者の公募を行った「宮城県介護研修センター」(現指定管理下で県社協が運営)について、募集要件などを確認

(2) 設置施設・事業所などでの地域福祉機能の強化
地域における多様な生活・福祉課題に 대응するため、地域福祉サービスセンターにおいて、機能の充実を図り、関係機関などと連携して横断的かつ柔軟に対応しました。

(1) 経営基盤の安定・強化
法令遵守を経営の基本とし、適正な予算の執行・資金の管理や不祥事防止など運営上のリスク管理の徹底を図り、健全な法人運営に努めるとともに、収益を得る自主事業の運営のあり方などの見直しを行い、理念・使命を達成できる安定的な組織づくりに努め、経営基盤の強化を図りました。

(2) 人材育成研修システムの実践と検証
職員の資質向上及び組織の人材育成のため、策定した県社協職員研修規程に基づき、人材育成研修システムの実践と検証を行いました。

(3) 事業継続計画(BCP)の策定
危機発生後において、重要な事務事業への影響を最小限に抑え、仮に中断しても可及的速やかに復旧・再開できるように標準化を図るため、具体的な行動計画を策定しました。

(4) 社会貢献活動への取り組み
施設体育館の地域開放、保護観察を受けている人の職場体験の場の提供、介護体験研修の実施、障害者の職場実習の受け入れなどを行いました。

今後は、法人全体で社会貢献活動を進めていくとともに、国で進めている「社会福祉法人のあり方検討」の方向性に合わせ「地域公益活動」の取り組みについても検討していきます。